

MONTHLY MAGAZINE

1999年7月1日発行(毎月1回1日発行) 第38巻第7号(通巻458号) 昭和40年1月20日 第三種郵便物認可

KOBECO

July '99 No.458 月刊 神戸っ子 7



★特集／夏の神戸ガイド
神戸まつり&グルメ・観光・ショッピングetc.

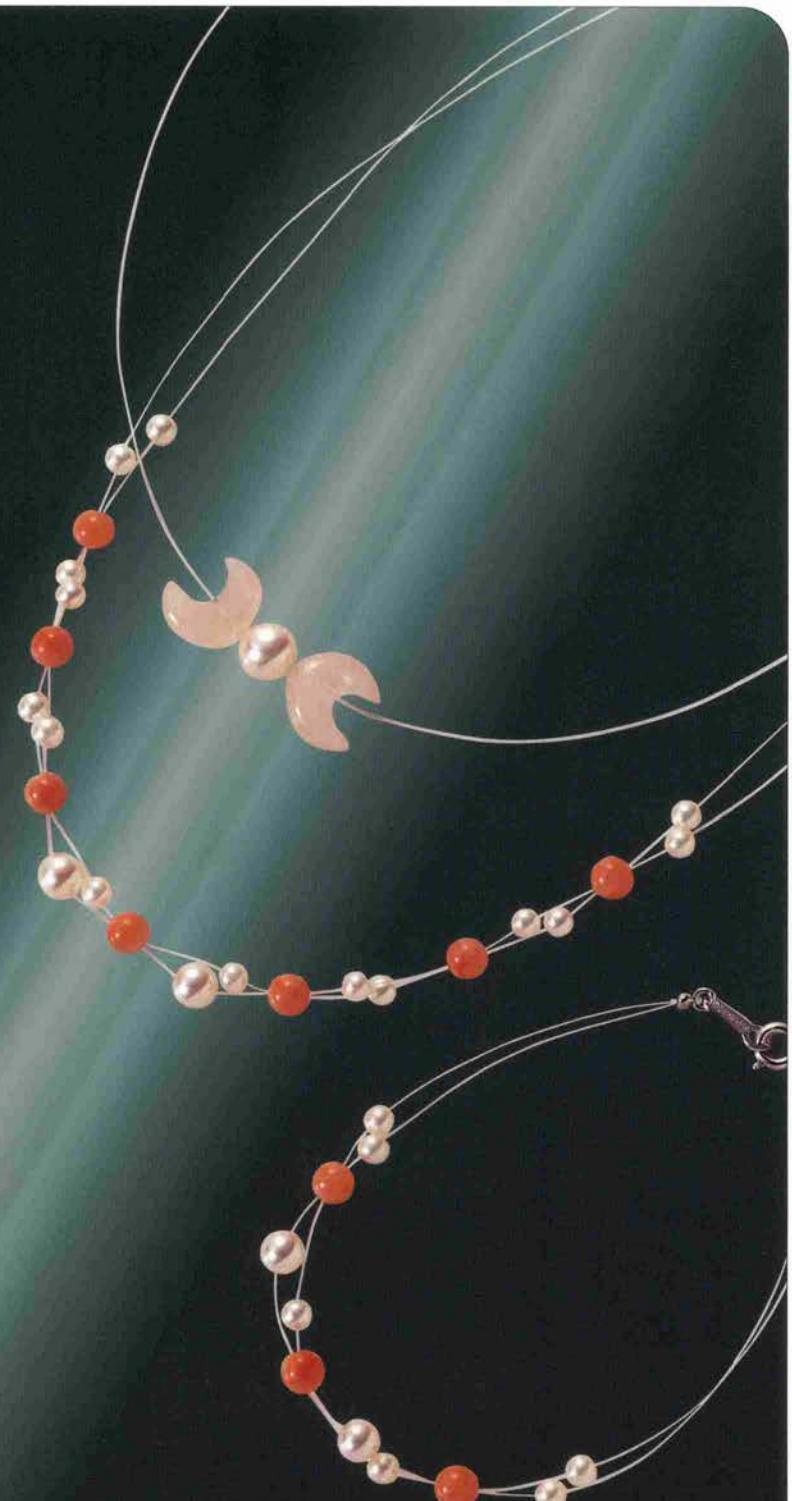
kobe夏book'99

〈ゲスト〉メモリアル 東山魁夷 インタビュー 木下直之
〈連載〉エッセイ 村松友視 ショートショート 玉岡かおる

K
I
N
O
S
H
I
T
A

PEARL COMMUNICATION


kinoshita
pearl



木下真珠パールサロン神戸
〒650-0003 神戸市中央区山本通1・7・7 (北野坂)
TEL 078-221-3170 FAX 078-221-9427

あなたが待ち望んでいた車が、ついにデビュー。

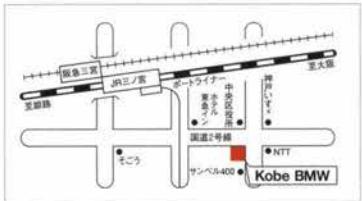
The new 320i



BMW ニュー320i デビュー試乗会

7/10(土)、7/11(日)

10:00~18:00



BMW Japan正規ディーラー

Kobe BMW
(株)モトレーン神戸



〒651-0088 神戸市中央区小野柄通5-1-20
TEL. (078)222-4151

駆けぬける歓び

涼やかに
夏に輝く



JEWELRY タジマ

神戸市元町2丁目 TEL.078(331)5761

—アート&クラフト'99—

第7回 新谷琇紀

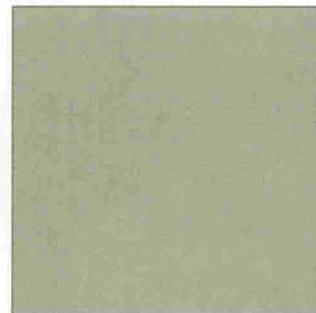


PACCO'99



しんに ゆうき
〈彫刻家・神戸女子大学教授〉
神戸市中央区在住

震災後、アトリエを10回ほど
転々とした。梱包された彫刻作品
が「出してくれ」と叫んでいる。
作品も私もパッケージの中から飛
び出したいのだ。わくわくするよ
うな、血潮が騒ぐような、そんな
作品をこれからも創っていきたい。



“ペイシティバンクかんしん”
は「共感・対話・信頼」を企業
理念として、地域の文化・芸術
の育成に努めています。

この“かんしんストリートギ
ャラリー”も芸術の香りをほの
かに漂わせたアートスポットと
して、本年は「アート&クラフ
ト'99」と題したシリーズで様々
な作品を紹介してまいります。



生田新道に面したストリートギャラリー



KOBE EXCELLENT FASHION

神戸シャツ

おしゃれなあの人へ
素敵な夏の贈り物



撮影/米田英男

KOBE EXCELLENT SHOP

★選りすぐった一点を…

Sanohe

本店 神戸市中央区元町通2丁目5-7 TEL.331-4707
ヌードル八 神戸市中央区元町通2丁目5-11 TEL.321-1710



LIZA

神戸市中央区三宮町2丁目6-1 TEL.391-6806

★神戸唯一のボルボネーゼトータルブティック

BOUTIQUE
Omura

神戸市中央区元町通3-2-18
ボルボ店 TEL.391-0014
ピアノ・ドンナ店 TEL.391-4601
(クーカイ店)

★よろず御襷衣縫上處

神戸シャツ

神戸市中央区三宮町3丁目1-6 TEL.331-2168

★婦人帽子

maxim
マキシム

神戸市中央区北長狭通2丁目6-13(トアロード)
TEL.331-6711 全国有名百貨店婦人帽子売場

★伝わる真ごころ 最高の風格

Bespoke Boutique
歐風館
KOBE

創業明治16年 金 柴田音吉商店

本店 神戸 元町本通4丁目アーケード南 TEL. 341-1161
東京店 東京 帝国ホテル アーケード内 TEL. 3503-7973

KOBECO

月刊神戸っ子7月号

No 458

JULY '99

これは神戸を愛する人々の雑誌です
あなたのくらしに楽しい夢をおくる
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ
これは神戸っ子の心の手帖です

表紙／元永定正「ふたつとひとつ」

51

特集／夏の神戸ガイド 神戸まつり&グルメ 観光・ショッピングetc.

kobe 夏 book'99

神戸まつりイベントガイド&マップ
インタビュー／安部はるみ
グルメ・観光・ショッピング
ファッショニ・コスメティック

memorial

8

こくさいホール緞帳開き
東山魁夷「新生の樹」

interview

10

台風の日に神戸にやってきました
木下直之

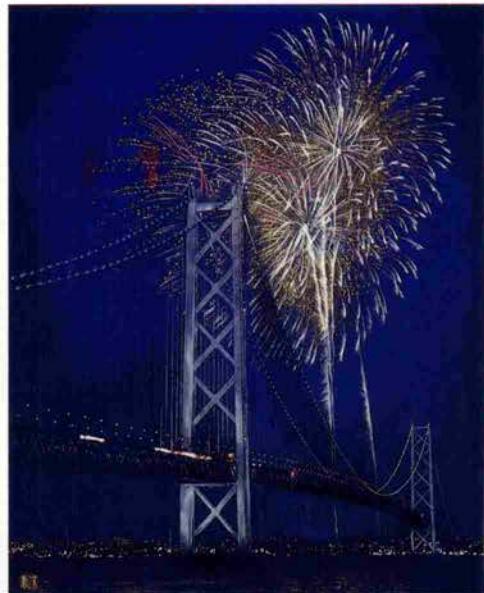
series

22

酔眼流旅日記「ノン・アルコールの酩酊」
村松友視 絵＝灘本唯人

70

神戸25時・彼と彼女のアストロジー
「しおまねき・恋まねき」
玉岡かおる 絵＝高濱浩子



西田眞人「輝映」

series

- 14 神戸のお嬢さん '99フラワーブリュンセスひょうご バールブリュンセス'99
- 16 Reportタカラヅカ「華やかなトップスター・コンビの名作舞台」
- 18 神戸新百景「こくさいホールで華やかな舞踊を…」若柳吉金吾
- 20 私の意見「神戸居留地返還100周年、来世紀への飛躍を」野澤太一郎
- 24 KOBECO'99 小坂田淳 新井初佳
- 26 コウベスナップ
- 28 ある集い 兵庫県民芸協会 神戸フランス料理研究会
- 30 竹久夢二 四つの恋のものがたり「故郷の海哀惜 神戸有情」中右瑛
- 32 世界のこんな美術館「ミュンヘン・ノイエ・ビナコテーク」伊藤誠
- 34 亀井一成のズームインズ「じいちゃん、トキの赤ちゃんまる裸だよ！」
- 36 はるにゃんのHYOGO WALK「但馬やまびこの郷・地域やまびこ教室」
- 39 神戸を福祉の街に「サンフランシスコのトラウマケアに学ぶ」橋本明
- 40 有馬歳時記「有馬温泉協会設立50周年に寄せて」鷹取嘉久
- 42 トアロードまちづくり「NHK跡のカフェ・トアガーデンが人気」
- 44 びっといん
ハードロックカフェ 金寶酒家 レストラン・バトゥ 老香港酒家
- 45 ひと味の、料理の味「うなぎ青柳」王柏林
- 46 紀行「東洋のベニスを訪ねて／水の都とやまへの旅」
- 48 啓介いろは歌「お父さんいろは歌」今井啓介／ヤジマンガ9907
- 49 小関みか子のT A S T Y ゴルフ「センチュリー三木ゴルフ俱楽部」
- 50 おなじみプロフェッサーPの研究室 岡田淳
- 67 神戸っ子俱楽部通信 田崎真珠 ホテルオークラ神戸
- 68 工房ルボ「ロクレール作家の三浦啓子さんを訪ねて」福元早夫
- 72 ポケットジャーナル
- 75 KFSニュース／愛読者プレゼント
- 76 イベント＆チケットプレゼント「もだかる9907」
- 78 海岸線、西へ。「河口～塔」木村光理
- 80 海 船 港 「観光底曳網漁船・海神丸に乗って」
- 82 北野ホットニュース ホテルグランドビスタ タックルショップスキッパーズ
- 84 神戸百店会
アダムG オークショップ富屋 永田良介商店 メープル不二屋
- 86 神戸うまいもん＆ドリンク
- どじょう吾作 炭やきすてーき・しゃぶしゃぶ六段
- 96 まちづくり座談会「長田神社を中心に発展し続ける復興のまち」
藤原正克 五鶴靖浩 大野義保 菅一夫 佐向輝幸
- カメラ／米田定蔵 池田年夫 松原卓也 米田英男 森田篤志 シンイチ

東山魁夷画伯の魂が新生の樹の中に

「さあ！進もう明日に向つて…」

●神戸国際会館 “こくさいホール” 緞帳開き

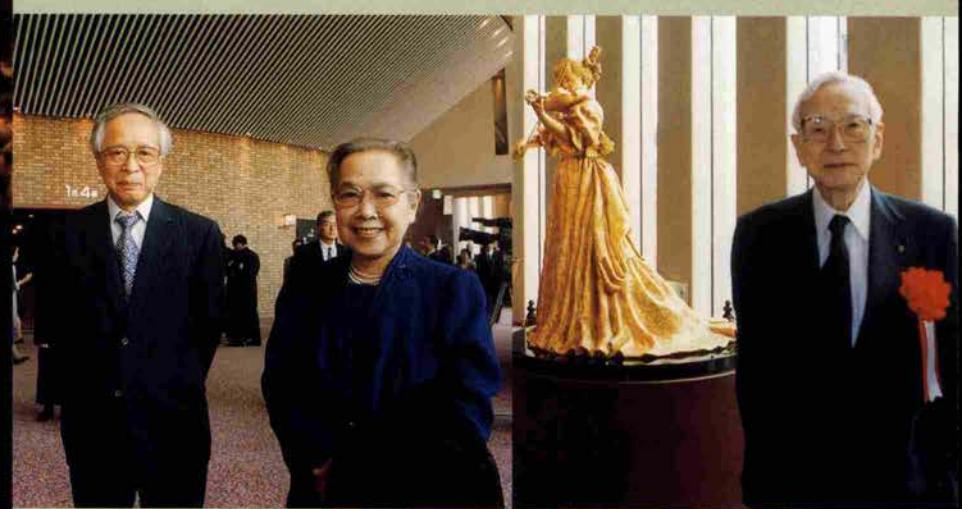
神戸国際会館 グランドオープン記念式典



↑5月28日（金）午前11時より、神戸国際会館のグランドオープンの記念式典が“こくさいホール”（2200人収容）で高円宮殿下・妃殿下ご参列のもとに開催された

↓写真下左／彫刻家の富永直樹氏と故東山魁夷画伯の、すみ夫人

↓写真下右／富永直樹作ブロンズ像「美しき神戸へのメロディー」の前で朝比奈隆名誉館長（指揮者）



←故東山魁夷画伯が最後に故郷へ贈った緞帳「新生の樹」が美しい“こくさいホール”

↓写真下／「歓喜の森」陶板の前で新開寛山氏。写真右は貝原知事夫妻と柏井館長夫妻



「新生の樹」

東山魁夷

厳しい冬が去つて樹々の梢に
新しい生命が宿る。

美しい若葉の乱舞。

それは希望と歓喜に満ちている。

樹々は、いつも逞しいエネルギーを蓄
えていて、

春になると恵みの緑をふりかけてゆく。

地上の全てのものに新しい元気と勇気
を与えるから

「さあ！ 進もう。明日に向って、し
っかりと」

と合唱しているようだ。

新しい神戸国際会館「こくさいホー
ル」は、震災から四年五ヶ月の五月二
十八日の朝、フェニックスのようによ
みがえった。

今は亡き東山魁夷画伯が、ふるさと
神戸を励ます最後の縞帳は「新生の樹」。
緑の樹々の合唱がこだまして、優しく
人々の心を包んだ。その夜は、名譽館
長の朝比奈隆氏の指揮でシンフォニー
が響き、文化の殿堂はここに産声をあ
げた。待ちに待った21世紀への序曲だ。



台風の日に 神戸にやってきました 木下直之

〈東京大学助教授〉

少し見方を変えてみれば、私たちは不思議な“つくりもん”に囲まれている…。著書『ハリボテの町』で神戸の街を独自の目で捉えている木下直之さん。かつて兵庫県立近代美術館の学芸員として神戸に住み、現在は東京大学助教授。普段の生活で見落としがちな何か。それを探り、発信する視点をもつに至った経緯や今後の神戸のまちづくりに関しての意見をうかがった。



■木下直之
1954年、浜松市生まれ。東京芸術大学大学院中退後、兵庫県立近代美術館学芸員となる。1997年東京大学助教授に就任。主な著書にサントリー学芸賞受賞の『美術という見世物—油絵茶屋の時代』(1993年平凡社・1999年ちくま学芸文庫)、『ハリボテの町』(1996年朝日新聞社)『写真画論』(1996年岩波書店)など。

おだてられて好きになりました

浜松出身の木下さんが生まれて初めて「おだてられた」のは小学生のとき、絵のコンクールで賞をとつたようになってしまった。いたつて平凡な少年時代だったというが、「中学生の頃赤色で持ち物を統一したことがあります。赤色は女の子、ということへの反発だったかもしれません。それと、高校生のとき一年間かかとをつけずに歩いていたことがあります。サッカーボルダつたんですけど、『巨人の星』に触発されて（笑）。

描くことよりも美術について考えたいと思うようになった木下さんは東京芸術大学入学後、西洋美術史を学ぶようになる。そして南蛮美術に強く興味をもつようになつた。南蛮美術は日本以外にある。十六、十七世紀、世界の港街に見られる地理規模的の異文化攝取に過ぎないこの現象も、日本美術史においては異端なものだと捉えられがちだった。視点を変えると受け止め方が全く違つてくることが面白かった。スペインに留学したのもこの頃である。神戸に越してきた時はもうすでにかつた市立の南蛮美術館だが、「何のゆかりもない神戸に惹かれたのはそのせいかもしない」と木下さんは話す。

神戸にやつてきたのは一九八〇年の秋。最初はアルバイトとして近代美術館に働いた。「引っ越してきたのが台風の『水木』はそこからとつているんですね。でも、そのことを知っている人は案外少ない。水木通つて何の変哲もな下町なんですね。何でもない神

水木しげるは神戸に住んでいた

一実際に近代美術館で働かれていかがでしたか。

「興味のあつた南蛮美術とはかけ離れた美術に目を向けることになりましたね。全く未知の世界というか。自分の関心と近代美術館とのリンク、そして都市にとって美術館つて一体何なのか。神戸が持つ歴史と美術館とがつながつていくことができるのだろうか。

私は近代というのは、今の社会の仕組みができあがつた時代だと思っていました。近代美術館は、開館した一九七〇年当時全国でも珍しくて、新鮮なものだった。けれどそこで名乗つた「近代」というのは何だつたんだろう。二十一世紀を迎えるにあたつて、いまだその看板を掲げていらされるのだろうか」

「ご自分で企画された展示で印象に残つているものがありますか。

「就職から十年目、九十年の『日本美術の十九世紀展』は初めて自分でやりたいと思った企画展です。だからとてもも刺激的だった。そのほかに、『水木しげると日本の妖怪展』も思い出深い。

もともと鳥取県の境港市出身の水木しげるさんは、戦争から戻ると兵庫区の水木通に引つ越してきました。ペニネームの「水木」はそこからとつているんですね。でも、そのことを知っている人は案外少ない。水木通つて何の変哲もな下町なんですね。何でもない神戸の地名を水木しげるは自分の名字にした。そういうのってなんだかいなあと思つて」

「震災の直後には、いわゆる『ディザスター・ユートピア』というものが出現しました。そういうのってなんだかいなあと思つて」

「震災の直後には、いわゆる『ディザスター・ユートピア』というものが出現しました。自分のしたいことをやめることの方がずっと少ない。さまざまな制約があるなかで、どれだけ自分が意欲を伝えることができるか。へたをすれば、一人よがりで終つてしまふ。だからこそ、自分の企画で未知の人から反応があるのはとてもうれしいですね」

「そんな今の神戸になにかメッセージをお願いできませんか。『うーん、そんなに神戸には詳しく述べねえ：（笑）神戸はよくエキゾチックとか小粋というように表現されけれど、それを強調することによって隠れてしまう『神戸』があるよう思います。私は『越境』という言葉をよく使うだけれど：知らず知らずのうちに自分の周囲に作つてしまつた境界線をまず一步踏み出すことが必要じやないかな。おしゃれじゃない神戸も歩いてみたいですね」

「神戸に関してはどんな印象をお持ちですか。

「港街神戸とはよく言われますが、港としての機能を果たしているのだろうか。神戸が悪いのではなく、時代が海から空へと移つていつたからでしょうけれども、過去の栄光にしがみつきがちですよね。むしろ目には見えない神

戸の魅力、例えば在日外国人の暮す人間同士のつながりやコミュニティとしての活性化なんていうものがあると思うんです。」

「久しぶりに神戸に戻られて：震災後の復興具合を見て、どう思われますか？」

「震災の直後には、いわゆる『ディザスター・ユートピア』というものが出現しました。自分のしたいことをやめることの方がずっと少ない。さまざまの意欲を伝えることができるか。へた

ふれた。ただ、そのユートピアは幻想でしかなかつたんじゃないだろうか。

「復興」という誰も反対できないスロー・ガンも気に入らない。近代美術館の庭にまで、『復興』のモニュメントが建てられる始末です」

「そんな今の神戸になにかメッセージをお願いできませんか。『うーん、そんなに神戸には詳しく述べねえ：（笑）神戸はよくエキゾチックとか小粋というように表現されけれど、それを強調することによって隠れてしまう『神戸』があるようになります。私は『越境』という言葉をよく使うだけれど：知らず知らずのうちに自分の周囲に作つてしまつた境界

線をまず一步踏み出すことが必要じやないかな。おしゃれじゃない神戸も歩いてみたいですね」

撮影／池田牛夫

構成／石塚綱子（本誌）

阪神大震災チャリティー
サマーフェスティバル

竹田傑と和楽童子

津軽三味線と尺八・和太鼓のアンサンブル

津軽三味線・竹田 健 舞……藤原豊美
尺八……竹田直郎 津軽三味線・赤い陣羽織
和太鼓……北村敏明

大歌舞



Guest



T.Sax Quena／石田浩正
A.Sax／吉岡 隆
G.T／岸本耕誌
Bass／井上吉清
Dr./鳴村泰宏
P.t.Synthe.(Arrange)／黒滝忠志

音楽監修／竹田 健

演出構成／竹 得水子

編 曲／黒滝忠志

美 術／小間みか子

音 韻／サウンドワークス・大谷 企

画／エスティ音楽事務所

舞台監督／中倉敏博

■後援 兵庫県 財団法人兵庫県芸術文化協会 神戸市 神戸市文化振興財団 財団法人宝塚市文化振興財団 在大阪メキシコ総領事館 読売新聞大阪本社 日本フルート協会 津軽三味線全国協議会 近畿日本ツーリスト株式会社 神戸シティライオンズクラブ 神戸ファッショングループ 植草貞夫事務所 月刊神戸っ子

■協賛 株式会社ルヴェール 服部ヒーティング工業株式会社 華道恵千会
■主催 エスティ音楽事務所 宝塚市中山五月台1-5-2 TEL.0797-88-4139

前売りチケット

チケットぴあ	06-6363-9999
神戸文化ホールプレイガイド	078-351-3535
星電社プレイガイド	078-391-8171
ムチヨコラソン	06-6633-3898
株式会社ルヴェール	078-811-3007
エスティ音楽事務所	0797-88-4139

おもてなしの心で 神戸の良さをアピール



中島 龍
(神戸地下街株式会社代表取締役専務取締役)



さんちか夢広場

さんちかは21世紀に向けて、
繁栄を継続してゆくために、昨
年3月にリニューアルを行つて、
から早1年が経過しました。こ
の間にも消費不況が一段と深刻
化し、小売業界は依然として、
大変厳しい状態が続いていま
す。そんな中、明るい話題は神
戸国際会館が今春復興オープン
したことです。三宮地区にとつ
ては誠に喜ばしく期待するところ
が大きいものがあります。私た
ちとしてはお客様から支持され
るべく、常に自己研鑽を重ねる
ことは当然のこととして、神戸
国際会館やセンター街、そこう

さんちかは21世紀に向けて、
繁栄を継続してゆくために、昨
年3月にリニューアルを行つて、
から早1年が経過しました。こ
の間にも消費不況が一段と深刻
化し、小売業界は依然として、
大変厳しい状態が続いていま
す。そんな中、明るい話題は神
戸国際会館が今春復興オーブン
したことです。三宮地区にとつ
ては誠に喜ばしく期待するところ
が大きいものがあります。私た
ちとしてはお客様から支持され
るべく、常に自己研鑽を重ねる
ことは当然のこととして、神戸
国際会館やセンター街、そこう

といった、隣接商業施設間の協
調関係が今後ますます重要な
ことになります。この機会を販売
チャンスとだけ捉えるのではなく
、おもてなしの心でお迎えし、
それが神戸の良さをアピール
することこそ大切ではないか
と思います。

もう一つの話題は、オルセー
美術館展が神戸市立博物館で行
われていることです。また、第
29回神戸まつりが7月17日(土)
～20日(祝)の間、市内各所で開
催され、今年は、神戸居留地返
還100年祭の記念式典が行わ
れるなど、神戸市内はもとより、



さんちかメインエントランス

■ 神戸地下街株式会社
神戸市中央区三宮町1・10・1
TEL 078・391・4024

神戸のお嬢さん

'99フランセーズひょうじゅ

緑のようにさわやかに
花のようにならしく

広川 友子さん（'99フランセーズひょうじゅ）
山科有為子さん（代表、「99フランセーズひょうじゅ」）
永吉 純子さん（'99フランセーズひょうじゅ）



兵庫県公館にて 撮影／米田英男

花と緑あふれる兵庫県のシンボルとして、去る四月二十九日（祝）のみどりの日に「'99フランセーズひょうじゅ最終審査会」が、加西市の「兵庫県フランセセンター」で実施され、応募総数二一八人の中から、姫路市の山科有為子さん（二二）が代表プリンセスに、神戸市の永吉純子さん（一九）と西宮市の広川友子さん（二四）がプリンセスに選出されました。

新プリンセスは今後一年間、来春に淡路島で開かれ るジャパンフローラ2000のプレイベントをはじめ、県内産花卉のPRや公式行事など「兵庫県の顔」として活躍が期待されます。



推薦者 渡邊百合
株式会社マキシム代表取締役社長

神戸のお嬢さん

パールプリンセス'99

優美な輝きを放つ

真珠のように華やかに

野手るりこさん（パールプリンセス'99）
柿田 美里さん（代表パールプリンセス'99）
梅田 陽子さん（パールプリンセス'99）



神戸ポートピアホテル 撮影／米田定蔵

五月十三日に神戸ポートピアホテルにてパール・フェスタ'99が開かれた。このパール・フェスタ'99の目玉でもあるパールプリンセスの審査員をお引き受けして以来、嬉しく感じるのは、近年の神戸が確実に力強いあゆみを感じさせてくれることだ。会場の熱気が神戸復興の息吹を確実に感じさせてくれる。我々にとってこんなに嬉しく心強いことはない。そんなエネルギーが彼女たちにも移ったのか、今年は例年にまして候補者全員が充実しており、審査に苦しんだ結果、素敵なプリンセスたちが誕生した。

日本の真珠、神戸の力強さをこの一年で世界中にアピールしてほしいと願つて

五月十三日に神戸ポートピアホテルにてパール・フェスタ'99が開かれた。このパール・フェスタ'99の目玉でもあるパールプリンセスの審査員をお引き受けして以来、嬉しく感じるのは、近年の神戸が確実に力強いあゆみを感じさせてくれることだ。会場の熱気が神戸復興の息吹を確実に感じさせてくれる。

私は例年にまして候補者全員が充実しており、審査に苦しんだ結果、素敵なプリンセスたちが誕生した。



推薦者 植田紳爾
宝塚歌劇団 理事長